

コロナ禍の中での通常と変革の教育活動

明日より冬休みとなり、本日2学期の終業式を無事迎えることができました。これは、ひとえに、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解・ご支援の賜物と喜んでいる次第です。ありがとうございます。コロナ禍の中で、第3波という危機的状況が続いている今日ですが、2学期は、8月



24日(月)より始まりました。9月19日(土)には、半日開催の規模を縮小した「運動会」を行いました。密集、密接を避け、上学年では、伝統的な組体操をやめ、マスゲームによる集団演技を行いました。開閉会式や応援合戦においても、感染予防を念頭においた行動様式をとりました。運動会における新たな形を見いだしたように思います。

10月9日(金)には、朝陽同窓会主催の「青い目の人形」を観劇しました。戦争の悲惨さと平和の尊さをモチーフにした演劇に涙する児童もいました。日野小学校から青い目の人形「メリーちゃん」をお借りし、平和学習の一助とさせていただきます。



また、26日(月)には、京都フィルハーモニーにお越しいただき、『ハンガリア舞曲第五番』、『アイネ・クライネ・ナハトムジークより第一楽章』などの素晴らしい演奏を聴きました。心配した観劇や鑑賞等ですが、素晴らしい音楽や演劇を実際に目にし耳にすることは、子ども達に豊かな情操を育みます。これらの会を開催できたことをうれしく思っています。



今年は、例年行っている、11月10日の「全校綿向山登山」、下旬の「西大路小学習フェスタ」がコ

ロナの影響により中止させていただきました。次年度以降については、コロナの状況を見極め、行事の新たな形態を確立していきたいと考えています。

11月27日(金)に「校内マラソン大会」を行いました。絶好の天候のもと、子ども達はスタートから飛び出し、一生懸命走りました。走り終わった後の表情は、達成感でいっぱいでした。何より全校児童79名全員が参加し、79名全員が完走したことを誇らしく思います。



12月2日(水)には人権集会を開きました。今年は、雲迎寺(別名:さつき寺)のご住職でおられる『てんご堂雅落』さんにお越しいただき、『ふれあい人権落語~いろいろな人がいて、いろいろな笑いがある~』と題して『寿限無』、『動物園』の二席をしていただきました。雅落さんの子ども達との楽しいやり取りや軽妙な話に、会場は笑いに包まれました。翌日には、『人権ミニ集会』を開き、各学年から「友だちを大切にする」、「人の気持ちを考えて行動する」等の『人権宣言』がなされました。



このようにコロナ禍ではありますが、感染対策を施しながら通常に戻せること、新しい様式にしていくことを一つ一つ考えながら実施してきました。今後もこのような取組を継続して行い、次年度の新たな西大路小スタンダードを構築していきたいと考えています。明日からの冬休み、子ども達が健康で事故等に遭わず、規則正しく楽しい休みを過ごせますよう、どうぞ見守りのほどよろしくお願ひします。また、ご家族の皆様がよいお年を迎えられ、よき新春となりますことを願っております。本年は、誠にありがとうございました。<文責:校長 正野新造>